

R-18
FOR ADULT ONLY

EMERALD SPLASH

AERIAL RAVE

EMERALD SPLASH

AERIAL RAVE





本書を許可無く複写・転載することを禁止します。
成人向けにつき未成年者への譲渡・貸与はご遠慮下さい。

EMERALD SPLASH

[Contents]

マンガ …5P

本日、当研究室に驚くべき検体が届く。先日かのゼホイム遺跡より発掘された先史文明の遺産である。ナノマシン群体という貴重なサンプルを簡単に廃棄処分にする閣下の意図がさっぱりわからない。

用済みとなったのなら我々の研究室で有効利用させていただくとしよう。いい加減、亜人やウェルス相手では面白みがなく飽きてきたところである。

早速いつもの特製のウェルスをけしかけることにする。戦闘能力を保持していたようで抵抗するが、被験体に付属していた制御用高周波発生装置により変化能力を抑えることに成功。この装置は先の実験の成果物のようにあり、被験体のナノマシンをある程度操作できるようである。後で色々使えそうだ。

はッ

はなせッ

けしかけたウエルスは被験体の柔肌に舌を這わせ始めた。
通常ウエルスというものはヒトの血肉を欲するものであるが
こいつらは特別製で血肉ではなくヒトの体液(というか愛液)
を欲する。つまりコイツに捕まったヒトは体中の穴という穴
から液体をただ漏れにするように様々な刺激を与えられ続け
ることになる。

メモチわるい...

へッ へんなトコッ
なめるなあッ

んひッ

ちゅっ

あやあ
ちゅ

ぬあ

また興奮時に体液に含まれる各種活性物質を好む習性があるため、対象の脳神経系を覚醒させる作用のある液体、つまりところ媚薬のようなものを体表から大量に分泌する。解りやすく言えば、コイツは捕まえた獲物をイカせつづけ体液を吸る習性があるということである。
我ながら悪趣味なものを創りだしてしまったと思う。

ちゅ

んっ





あがッ!!

かッ!!

ビクッ

奥はやめで

おなかッ!!

つづれるん

かッ

かッ

あッ!!

ガッ

ム

これだけ凶悪な逸物を受け入れても膣口に
損傷がみられない。さすがはナノマシン群体。
柔軟性対応性が高い。被験体のこの反応も苦
痛よりも嫌悪からくるものであろう。

しかし媚薬の効果がヒトと大差なく効いて
いるように見える。中途半端にヒトを模し
ているせいであろうか。





実に容易く絶頂に押し上げられたようだ。年端もいかぬ少女の容姿に似合わぬ、淫靡な身体の持ち主である。まあウエルスの巧みな手練の結果でもあるが。

敏感な部分を引っ掻き回され、体液を体中から掻き出されていく。絶頂の余韻が引く間もなく責め立てられていく。痺が止まらないようだ。





この被験体は乳首と陰核の感度が高いらしい。ウエルスはそれを把握したようで集中してそこを弄りはじめた。

絶頂から降りてこれなくなっただのか、拘束している触手を引き千切らんばかりにデタラメに四肢が跳ねている。

しかしウエルスが容赦することはない。獲物の状態を酌量することはない、弱味があれば徹底的にそこを突く。





肥大化し変質しているのは乳首も同様であった。しかしこの状況では弱点を目立たせた結果となっただけである。当然ウエルスの興味は三点に集中し、徹底的にしやぶられることになった。



カウントされた絶頂回数が十回を超えた。媚薬の効果は予想外に効いているのか、間隔も短くなりつつある。常人ならこのあたりで衰弱して昏倒しているところであるが、未だに意識があるのはナノマシンの身体ゆえか。もっともまともな思考を保っているかどうかは怪しいところではあるが。



〜ぬるぬる〜ッ

やめッ!!

ギョモぢいのッ♡
でもっッ〜やだあ〜ッ

あッ♡

アッ♡

グッ♡

このウェルスの体液には強力な感度上昇効果があるが通常のヒトに使用するには強すぎて、晒し続けられれば不可逆な悪影響を与えかねない。
しかしこの被験体の場合、ナノマシン群体ゆえに高い耐久性順応性を持ったため、そのような心配の必要もないようである。

ぬるる

グッ♡

あッ♡

ぬるる

グッ♡

むしろその高すぎる順応力のせいで感度の上昇レベルが青天井になってしまっている。



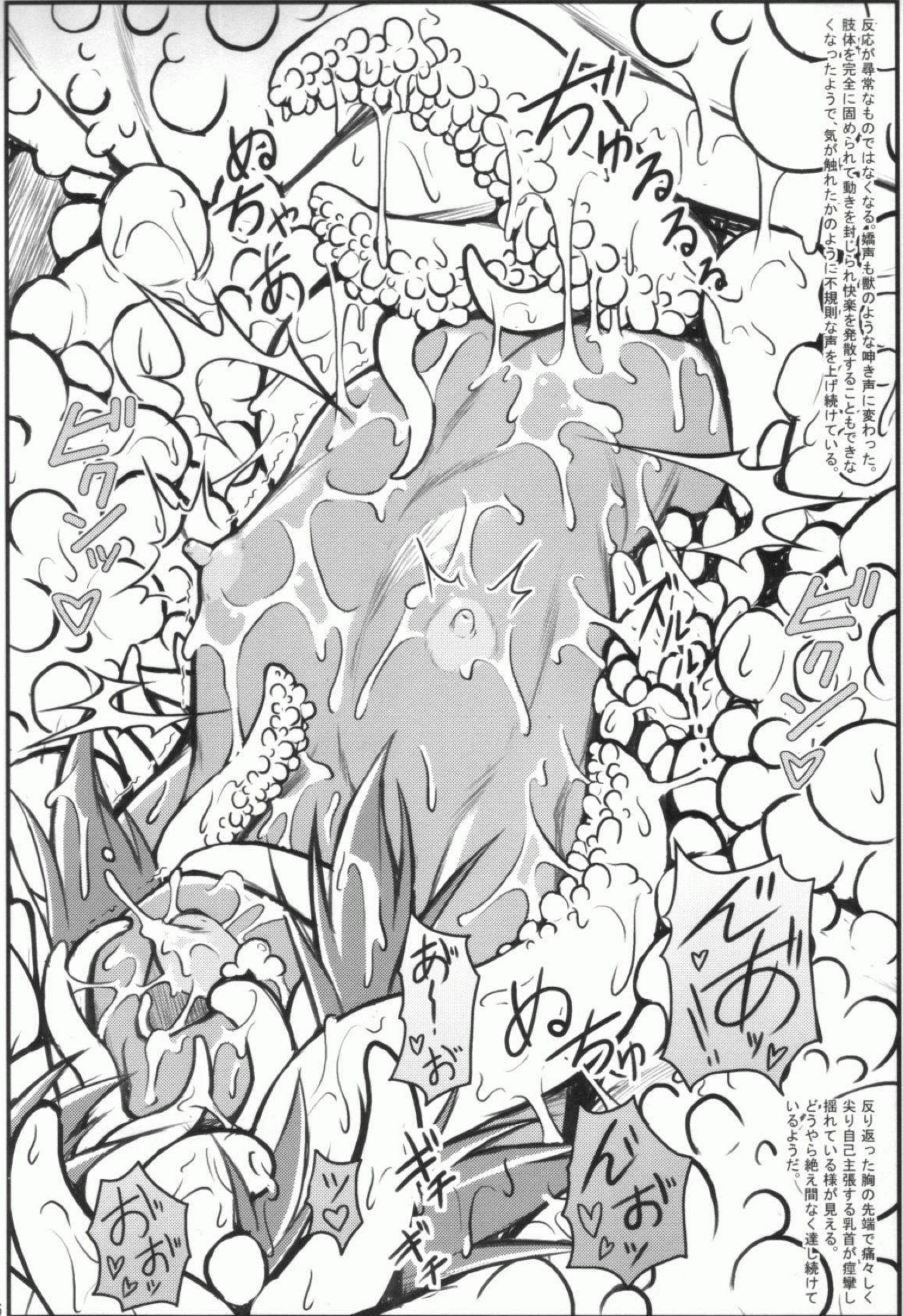
ウェルス達は被験体の外側だけではなく、内側からも
身体を作り変えるつもりようだ。上下の口から自ら
の大量の体液を無理矢理体内に流し込んでいる。
頭部と臀部をすっぽりと啜え込まれ、打ち揚げられた
魚のように絶頂に打ち震える身体は、なかなか扇情
的である。








反応が尋常なものではなくなる。嬌声も獣のような呻き声に変わった。肢体を完全に固められて動きを封じられ快楽を発散することもできなくなったようで、気が触れたかのように不規則な声を上げ続けている。



反り返った胸の先端で痛々しく尖り自己主張する乳首が痙攣し揺れている様が見える。どうやら絶え間なく達し続けているようだ。







こうなつては暫くこのままである。ウエルスの気が
済むまでイキっぱなしでしゃぶられ続けることにな
るだろう。通常のヒトなら二十分持てば良い方だ
ある。それ以上は脳が深刻なダメージを負うためだ。
しかし今までの経過を鑑みればかなりの長時間を
耐えられるのではないかと思う。

被験体はウエルスに完全に
飲み込まれてしまい、外部か
らは様子が見えなくなった
が、内に潜り込ませた極細ス
コープと各種センサーによつ
て被験体の状態は問題なく
確認できる。

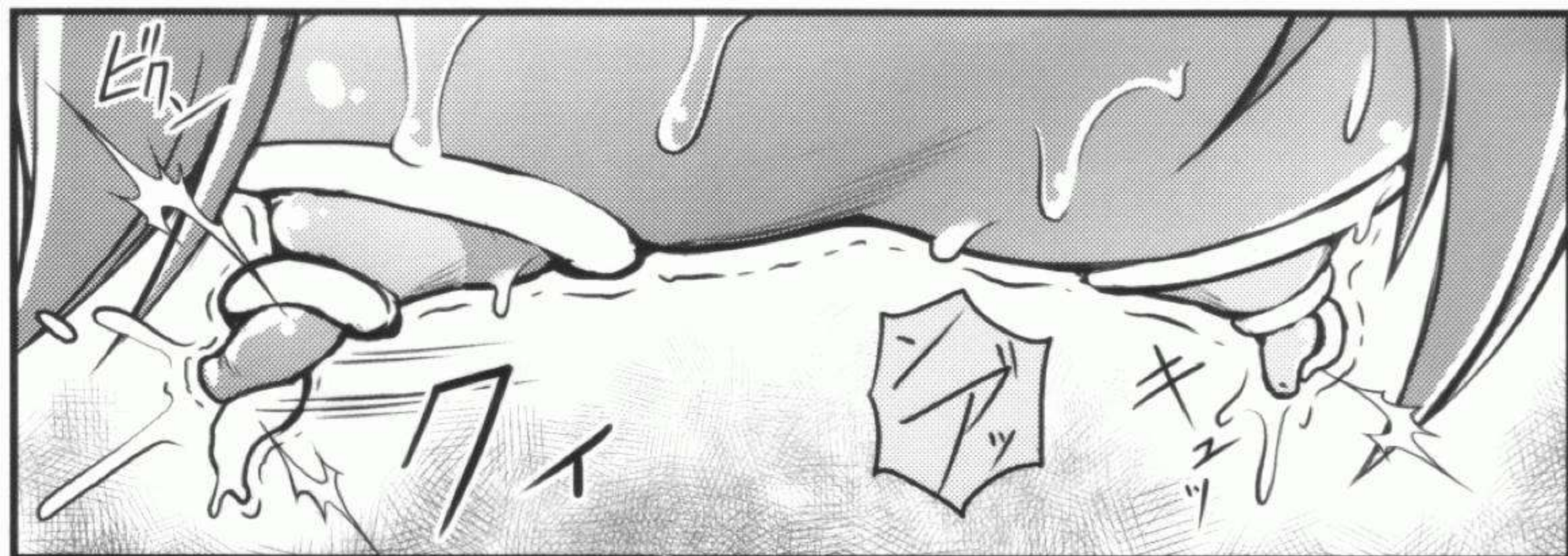
体中あますことなく性感帯に改造された身体を
愛撫され、体液を吸われているようだ。ウエルス
にとって被験体は最早餌のようなものなのかも
しれない。


三時間経過。

被験体は未だ健在であった。驚くべきことにナノマシンの高い耐久性は肉体のみならず脳神経系にまで及んでいるようだ。

当分の廃人化の恐れはなさそうである。もともと本人からすれば地獄が長びくようなもので不幸なことだとは思わが。







ウエルスの動きに応じて被験体は激しく痙攣している。これだけ長時間達し続けても相も変わらず新鮮な反応を返してくる。
脳波も心拍数も各種バイタルサインは出鱈目な波形を返しているが、精神は未だ破綻も摩耗もしていない。

「ここに来て我々の興味は『どこまで耐えられるか』ではなく、『どうやったら壊せるか』に移っていった。被験体にあてがう更に大量のウエルスを調達する必要がある。そうである。」

[Postscript]

■この度は本書をお手に取っていただき、まことにありがとうございます。今回はエメラダ本となりましたが、正直、描きたいことの半分も描けなかったのが、かなり悔いの残る内容となってしまいました。話の内容がgdgdもいいところですね…。加えてやってることがいつもと同じと
いうか…。後半の呑み込みパートをもう少しボリュームあげたかったのですが、上手い見せ方がどうしてもこれ以上思いつきませんでした。構図の自由度に制限がありすぎる…。まあそれ以前に今回の最大の反省点は、ペン入れできてないことなんです。量を優先したらこんな結果に…。ほんとごめんなさい。

■さて、次回はマルーになるかもしれません。というか本来なら真っ先に描いているべきキャラなんですけどね。キャラソートの…。でもそろそろまたムチムチ系描きたくて来る頃なのでやっぱり未定ということで。またお付き合いいただけたら幸いです。それでは。

Jacky





EMERALD SPLASH

[奥付]

発行日 : 2011年12月31日
発行 : AERIAL RAVE
発行人 : Jacky
印刷 : Comflex

<http://www.aerialrave.com/>
jacky@aerialrave.com

A detailed illustration of an aerial rave scene. The background is a dark, textured brown. In the center, a large, glowing, circular stage or platform is visible, surrounded by a dense crowd of people. The crowd is depicted with various poses and colors, suggesting a vibrant atmosphere. The overall style is reminiscent of a comic book or a stylized digital illustration. The text 'AERIAL RAVE' is prominently displayed in the center, with the date '2011/12/31' below it.

AERIAL RAVE
2011/12/31